

■中部幾次郎 実業家。〔大洋漁業〕を創立し、〔敗戦〕直後の決断で、日本最大の漁業会社とする礎を築いき、没した。

なかべいくじろう

薩長同盟・1866= 播磨国明石東魚町(兵庫県明石市)で、鮮魚商林屋兼松の次男に生まれる。

明治維新・1868= 2歳 :

明治6年政変 1873= 7歳 :

初の民間工場1875= 9歳 :

..... 1880=14歳 : この頃から、家業を手伝い始めて、鮮魚運搬船に乗り組み、

明治14年政変1881=15歳 :

秩父事件・1884=18歳 :

九州・四国方面で買い付けては、大阪市場に運ぶうち、いかに早く運ぶかが全てと悟り、

帝国憲法発布1889=23歳 :

郡司千島探検1893=27歳 :

日清戦争始・1894=28歳 :

八幡製鉄始・1897=31歳 : 小蒸気船を賃借し、日本ではじめて汽船を鮮魚運搬の曳船に利用。

教科書疑獄・1902=36歳 :

日比谷公園・1903=37歳 : 川を滑るように進むスマートな巡航船を見て、発動機を押し送り船につけることを思いつき、

日露戦争始・1904=38歳 : 大陸周辺漁場の開発根拠地を下関に置くと、鍛冶職の清水の協力を得、

日露戦争終・1905=39歳 : *石油発動力機鮮魚運搬船〔新生丸〕を自力建造、特許をとらずに公開して、日本漁業発展の一步となる。

この船で明治末に買付範囲を朝鮮まで拡大、

大逆事件判決1911=45歳 :

明治天皇没・1912=46歳 :

大正政変・1913=47歳 : *個人商店〔林兼商店〕を開設、

民本主義・1916=50歳 : 朝鮮でのまき網・定置網漁業などを手始めに、漁業の直営を開始、下関に造船鉄工所や冷蔵庫を建設。

本格政党内閣1918=52歳 : 土佐捕鯨を買収、国内でも以西底曳漁業・トロール漁業・捕鯨業を開始し、

大暴落・1920=54歳 :

原敬首相暗殺1921=55歳 :

護憲三派圧勝1924=58歳 : 改組して〔林兼漁業〕〔林兼冷蔵〕〔林兼商店〕の株式会社3社とし、

治安維持法・1925=59歳 : この3社を合併して〔株式会社林兼商店〕とした。

昭和に入って、北洋のカニ・鮭鱒漁業、南氷洋捕鯨に進出するとともに、外地漁業部門を拡充し、

世界恐慌・1929=63歳 :

満州事変・1931=65歳 :

帝人疑獄事件1934=68歳 : 〔日本捕鯨(のち日本水産)〕がノルウェーから輸入した捕鯨船団によって南氷洋に繰り出すのを見るや、

二二六事件・1936=70歳 : *〔大洋捕鯨〕を設立し、莫大な資金を投入して、初の国産捕鯨船〔日新丸〕とキャッチャーボートを建造、南氷洋で好成績を上げ、まもなく、〔日魯漁業〕〔日本水産〕につく漁業会社に成長させる。

日中戦争始・1937=71歳 :

健保+総動員 1938=72歳 :

日米開戦・1941=75歳 : 日米開戦すると、捕鯨は中止となり、〔日新丸〕は海軍タンカーに使われ、

..... 1942=76歳 : 水産統制令により内地水産部門を分離し、大洋捕鯨・遠洋捕鯨両社を合併して西大洋漁業統制を設立。

創価学会検挙1943=77歳 : 林兼重工業を設立、

年金+総武装 1944=78歳 : 攻撃を受けて沈没したが、

敗戦・1945=79歳 : 敗戦直後、〔西大洋漁業〕、さらに〔大洋漁業〕と改称し、トロール船16隻・機船底曳船30隻の建造に入る。

この早期決断で、〔大洋漁業〕を日本最大の漁業会社とする礎を築き、

新憲法公布・1946=80歳 : 貴族院議員に勅選され、*GHQから一船団の捕鯨許可得た直後に、没した。

インターネット「大洋漁業の創業者」、